

ハラスメントの再発防止対策について

令和4年4月 江差高等看護学院長

本学院は、「道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応に関する第三者調査委員会調査書」を踏まえ、次のとおり、ハラスメントの再発防止に向けて学院内での取り組みを推進してまいります。

学生の皆さんが安心して看護を学べる学習環境を整えます。

- 教員と学生・保護者間での情報共有やガイダンス機能を充実させ、信頼関係の回復に努めます。
- 学生の可能性を信じ、学生から信頼される看護教員を育成します。
- 外部に開かれた学校運営を行います。

1 学生・保護者との情報共有、ガイダンス機能の充実

- ・ 学生面談の体制を強化するとともに、保護者との情報共有に努めます。
- ・ 学則等の見直しを行うなど、修学上のルールの詳細化と丁寧な周知に取り組みます。

2 相談窓口の強化

- ・ ハラスメント相談員を学内・学外に設置し、掲示版等で周知します。
- ・ 目安箱を設置し、学生の要望や不満、苦情等の意見を積極的に聞きます。
- ・ スクールカウンセラー、メンタルヘルススーパーバーザーを配置し相談に対応します。

3 江差高等看護学院通信の発行

- ・ 地域に開かれた学院運営を目指し、年4回、通信を発行します。
- ・ 内容は学院や各学年の近況などとし、学生・保護者、地域の関係機関に配布します。

4 教員研修の実施

- ・ ハラスメントや教育方法に関する研修を学内・学外で実施します。

5 学院運営アドバイザーの設置

- ・ 道本庁において学院運営アドバイザーを設置し、適宜、必要な助言を受ける体制を整備します。

6 江差高等看護学院適正化会議の実施

- ・ ハラスメントの再発防止に向けた学院内での取り組みを効果的に進めるため、学院外からもご意見を頂く場として、道立江差高等看護学院運営適正化会議を設置・開催します。

7 その他

- ・ 被害に遭われた学生の皆様への謝罪、救済措置については道本庁を中心に進めてまいります。

江差高等看護学院「ほめ活」推進プロジェクト

1 目的

学生及び教職員がお互いの良いところを認めたりほめる取り組みを意識的に実施し、相互のコミュニケーションの活性化や自己肯定感の向上を図ります。

2 方法

- (1) 全学生、全教職員が参加対象です。
- (2) 毎月概ね最終週を「ほめ活ウィーク」とし、その期間に集中的に取り組みます(実施期間は裏面)。
- (3) 学生や教職員は、他の人の良いところを意識的に観察し、「ほめカード」に記載して「ほめ活ボード」に張ります(1人1枚以上を目標とします)。
- (4) 「ほめ活ボード」は学生や教職員が共有しやすいよう図書室前に設置します。
- (5) 学院内の投票による「ほめられ大賞(いいことをした人)」、「ほめ大賞(いい発見をした、良くみていた人)」を決めて表彰します。

3 基本ルール

- (1) 「ほめカード」には、ほめる人、ほめられる人とも実名を記載してください。
- (2) ほめられた人はその人をほめ返したり、ほめてくれた人ではない他の誰かをほめて、お返ししましょう(ほめることの連鎖)。
- (3) 「ほめ活ボード」や「ほめカード」は、学院内でのコミュニケーションを活性化するために使うものです。SNS等によって外部に流出しないよう取り扱ってください。
- (4) ただし、本人等の承諾を得た場合や表彰の際は、取組み概要やエピソードを外部に発信することがあります。

4 参考

- (1) ほめること、ほめられることの効果
 - ・人はほめられたり、他人から期待されることによって学習や作業の成果があがります。
 - ・ほめられた人はドーパミンが放出され強い幸福感に包まれます。ほめることは脳の栄養になります。
 - ・ほめる側も、脳をフルに働かせてほめるため、脳が活性化します。
 - ・ほめた相手が喜んだり、やる気を出してくれている状態を見ると、自分の行動の成果として実感し脳内のドーパミンが放出されます。
- (2) ほめる技術の活用例
 - ・日本人はほめることが苦手で、意識して実施しないとなかなかできないと言われていました。
 - ・小さな日々の変化に気づき、ほめることは、相手のことをよく見ていなければできません。
 - ・初対面の人とコミュニケーションを図る時、相手をほめると、相手は自分に好意を持ってくれると感じ、お互い好意的な状態になり会話も弾みます。
 - ・患者さんへの看護実践においても良い効果が認められています(脳卒中の患者さんが歩くりハビリをする際に、「ほめられた」患者さんは「ほめられなかった」患者さんより、歩くスピードが大幅に速くなることわかったという研究結果がある)。

相手をほめたり、認める取り組みを意識的に進め学院全体で取り組み、学院生活の満足度向上につなげていきましょう。

裏面もあります



(参考)

令和4年度ほめ活ウィーク予定

4月25日(月)～4月28日(木)	10月24日(月)～10月28日(金)
5月23日(月)～5月27日(金)	11月21日(月)～11月25日(金)
6月27日(月)～7月1日(金)	1月30日(月)～2月3日(金)
7月25日(月)～7月29日(金)	2月20日(月)～2月24日(金)
9月26日(月)～9月30日(金)	(長期休暇中はお休み)

ほめ方のポイント

- 具体的にほめる
- とにかく良かったことをほめる
- いろいろな言葉でほめる
～なところが素敵です、～なところが好きです
～なところを見習いたいです
～でナイスでした!、～はグッジョブです!
- 良いところを見つけたらすぐほめる

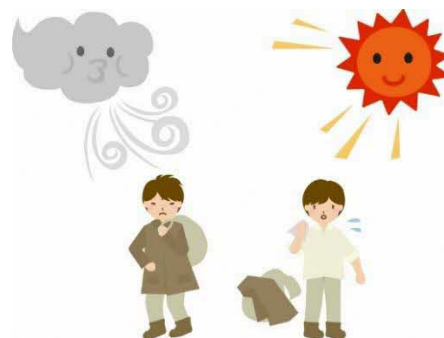
ほめ方のコツ

- 他の人をよく観察していると、良いところが見つかります
- 日々の小さな変化に気づくよう観察するのがコツです

「ほめカード」の記載例

- ○○さんの挨拶で元気を分けてもらいました
- ○○さんの声のトーンが聞きやすく素敵です
- ○○さんが○○しているのを見てすごいと思いました、私もできるようになりたいです
- ○○実習の時に、○○と言ってくれてすごく○○でした
- ○○の講義の時に、○○してくれた時、ちょうど○○だったので嬉しかったです

- ◎ 実習中で学院に来られないなど、「貼りたいのに貼れない!」場合は、教務室でお預かりし、代わりに掲示することもできます。
学院に戻った時にお気軽にご相談ください。



高等学校の皆さんへ

～ 私達と一緒に
看護を学びませんか? ～

学院や寮生活の環境

- 寮生活では、いつでも仲間と勉強ができるため、お互いに切磋琢磨でき、絆も深まる
- 寮にも実習室があり、学院だけでなく寮でも技術の練習ができる

江差高看のおすすめポイント

- 学院も寮もきれいで学習できる環境が整っている
- 小人数でクラス・学年関係なく仲が良い
- ほめ活というイベントで人を観察する力を身につけ、自己肯定感が上がる

江差高看に進学した理由

- 学費が安い
- 寮がある
- 静かな環境で集中して学習することができる
- 寮生活をする事で集団生活を学ぶことができる

受験の準備は コレをしました!

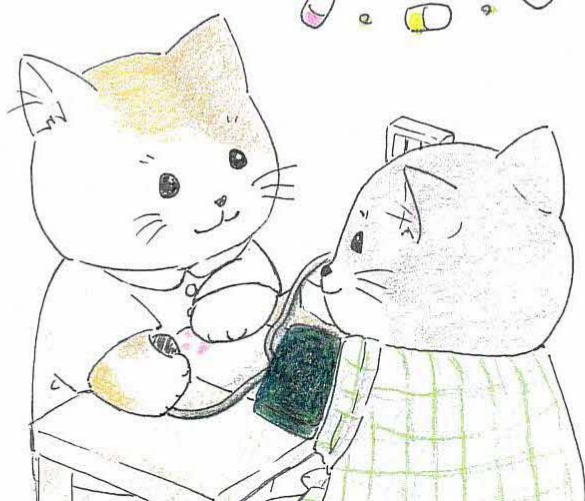
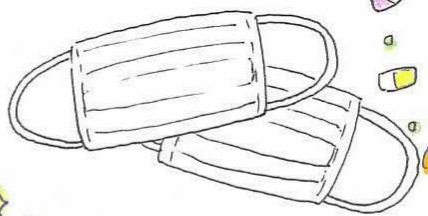
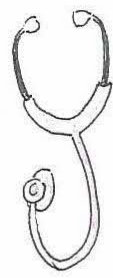
- 面接
- 小論文
- 国・数・英の基礎を固める

<住所>

〒043-0022
北海道檜山郡江差町
伏木戸町483番地

<電話番号(問い合わせ)>

0139-52-1417



～新しく着任した職員を紹介します～

《副学院長 佐々木 美子》

4月に網走高等看護学院より着任致しました。札幌医科大学附属病院での臨床経験から小児看護学・基礎看護学を担当することになりました。2年前にオンラインで小児看護学の講義を担当させていただき、「いつか対面で講義ができればいいな」と思っておりましたので、導かれたのかなと感じております。

看護の仲間である学生の皆さんとともに、「どうしたらよりよい看護を実践できるのか」ということを、一緒に考えていきたいと思っております。また、よりよい学習が行えるよう学習環境の調整や、教員の教育実践力向上に向けて取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

《教務主査 遠藤 直美》

4月に旭川高等看護学院より赴任しました。臨床は、札幌医科大学附属病院で精神科の経験があり、学院でも精神看護学を担当しています。他には、3年生の担任と授業運行係を担当します。

私は、どのような状況においても、学生が学生らしく成長していくためには、教員間での連携が必要不可欠であると考えます。そして、教員もいくつになっても成長できると思っています。私にも学生の成長を支える立場として、伸びしろがあると良いと思います。どうぞよろしくお願い致します。

《講師 臺坂 恵子》

初めまして、5月より本学院に勤務することになりました。私は、他校で看護教育に16年間携わってきました。その中で、看護の面白さや看護の素晴らしさを学生が感じられるように関わってきました。学生とともに成長できる素晴らしい仕事を、本学院でも続けられることを嬉しく思います。

この度、2年生担任と実習係、成人看護学を担当することになりました。色々な場面で、看護をする人としての成長を支援してまいります。「看護って面白い」「成長を実感できた」「この学校にきて良かった」と感じてもらえるように、学生とともに明るく前向きに歩んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。

研 修 報 告

北海道看護教育施設協議会が主催する下記の研修に出席しました。

講師の目黒先生は長年看護教育に関わっていらした方で、ご自身の著書の「教えることの基本となるもの」から一部抜粋され講義をしてくださいました。自分が看護学生の時に、教員の指導や助言をどう思っていたのか、新人看護師の時に先輩看護師にどんな指導をされてどんな風感じたのか。今、看護師の経験を積み教員という立場になって改めて振り返り、その上で「教えるとはどういうことなのか」「育てるとはどういうことなのか」ということを学ぶことができました。まだまだ未熟ですが、これからは皆さんと共に学び、共に育つことができるよう生かしていきたいと思っております。(講師 竹田里美)

- ◆日 時 令和4年3月26日(土) 9:30~16:30
- ◆場 所 TKP札幌駅カンファレンスセンター
- ◆テーマ 人に教えること、育てることとは～教育的なかかわりの本質を問い直す～
- ◆講 師 元藤沢市教育文化センター主任研究員 目黒悟先生



北海道

北海道立江差高等看護学院 通信

第5号 [令和4年5月31日]

— 発行 —
北海道立江差
高等看護学院

学院長からご挨拶

新緑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。学生の講義が終わる時間に校舎を巡回し、北海道を照らす夕陽を眺めるのが日課になりました。着任した12月には真っ暗だったことを思い、季節の移ろいを感じています。

さて、新しい1年が始まりました。8名の新入生を迎え、3名の新しい教員も着任し、改めて、学生が安心して看護を学べる学習環境を整えるべく、教職員一丸となって、日常の教育運営はもちろん、ハラスメントの再発防止対策に取り組んでおります。

ハラスメントの再発防止の具体的な取組については、4月当初に在校生及び新入生保護者の皆様にご説明しましたが、改めて資料を同封しますのでご参照ください。引き続き、アドバイザーの先生方にもご助言いただきながら、着実に取組を推進してまいります。お気づきのことがありましたらお知らせください(再発防止対策の取組として始めた取組をご紹介します)。

ほめ活推進プロジェクト

メンタルヘルススーパーバイザー(臨床心理士)からのご提案で、学生や教職員がお互いの良いところを認めたりほめる取組を通じ、相互のコミュニケーションの活性化を図ります。実名でカードを書き、ボードに貼って共有しますが、説明直後から、競い合うようにカードが貼られ、学生の積極性と観察力の鋭さに敬服しています。4月は総計123枚のカードが貼られました。年9回の予定で取組を進めてまいります。



【図書室前のボード】貼りきれないほどのカードが集まりました!

学院運営適正化会議開催状況

次の通り、開催状況・開催予定を報告します。

[第2回] ○日時: 令和4年3月29日(火) (リモート開催)

○内容: 再発防止に向けた取り組み状況について(各種規定の見直し、職員研修の実施について)

[第3回] ○日時: 令和4年6月(予定)

○内容: 再発防止対策の取組スケジュール、具体策等について(予定)

※ 会議資料等は今後、学院ホームページにも掲載を予定しています。



江差町役場からハンドクリーム、除菌シートをいただきました!早速使わせていただきます!

□■ 学院行事等のお知らせ ■□

- ◆ オープンキャンパス 7月23日(土)
- ◆ 夏期休暇 8/1~8/26
- ◆ 保護者面談 8月(予定)別途ご案内します

<1年生>

ご入学おめでとうございます。

晴れて4月から、看護師を目指しての学生生活が始まりました。

新1年生は初めての90分授業、寮生活、ドキドキのユニフォーム

(江差追分の師匠・浅沼先生)

合わせ、看護技術演習と新しい体験の連続の毎日をご過ごしています。4月には、2・3年生が主催の新入生歓迎会が大盛り上がりの中に行われ、学年の境を超えた交流も始まりました。

講義を受ける中で、想像していた看護の世界、知らなかった看護の世界に触れていく中で期待と不安が入り交じることもあるかと思いますが、まだまだ始まったばかりです。“看護って素晴らしい”と感じられる瞬間を多く感じてもらえるように、一緒に学んでいきたいと思っています。また、6月には個人面談の実施を予定していますので、疑問や不安を共有しながら、より良い学生生活を送っていただけるようサポートしていきたいと思っています。

クラスは前期のクラス委員長も決まり、目標「実習に向けて授業や演習に意欲的に取り組み、看護師としての必要な技術と知識を身につけよう！」の達成に向けて新スタートを切っていききたいと思います。

改めまして、よろしくお願いいたします。

1年生担当：楠原 千景



■江差の伝統・文化を学ぶ講義の一コマ

<2年生>

新2年生の学院生活の近況についてご報告します。新しく後輩ができ、さらに学習内容も、専門的（病理・疾病・心理など）に進んできました。

新3年生から学ぶことも多く、「報連相の徹底」「他者への思いやり」など、主に行事運営などから学び、それらを参考に学院生活を過ごしています。中でも係活動は、新3年生からバトンを受け、学院内でリーダーシップをとることが多くなりました。とても頑張っています。

今後も、学内で一番人数が多い学年ですから、仲間と切磋琢磨して、風通しの良いクラス運営をしていこうと考えています。

また、新入生に対しても、学内紹介や新入生歓迎会を通し、先輩として学内を説明したり、実際に行ってみせたりと、とても丁寧な関わりに安堵している毎日です。

6月中旬から始まる臨地実習に向け、学生たちが、心身ともに健康で、患者様に看護ができるように、環境を整えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

2年生担当：中村 和美
(5月から臺北に変わります)



■新入生歓迎会：自治会役員が企画・運営し、自己紹介やゲームで学年を超えて交流しました

<3年生>

新3年生の状況をお知らせします。いよいよ最終学年となりました。

5月から10月まで続く領域実習が始まります。実習に不安を持ちながらも患者さんに関わることを楽しみにしております。その姿は頼もしい限りです。

また、最終目標である看護師国家試験の合格に向けて、力を出せるよう実習の事前学習を進めながら、日々学習を行っています。

クラス目標にも、〈全員で実習・国試合格、卒業〉を掲げ目標に向かって前進するのみです。

実習では、今までの学習を活かし、患者さんに関わることで患者さんをより深く理解し、既存の知識や技術をより磨いてほしいと思います。

特に実習は、一人で悩まないで困ったことを発信していける力を身につけて、周りとの協力しながら、乗り切ってほしいと思います。

まずは、クラス目標の一つ目である全員で実習合格を目指して頑張っています。教員も、個々の頑張りを認め、共に学びながら支えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

3年生担当：遠藤 直美



■実習に行く3年生へ、教員から一言メッセージを掲示しました

江差高等看護学院における国家試験対策について

国家試験合格に向けて、1年次から計画的なサポートを実施します。

- 1年生** 講義やグループワーク、看護技術の校内演習など様々な授業形態に慣れていきながら、自己学習方法の確立を目指しています。6月に個別面談を実施し、学習支援を行う予定です。
- 2年生** 個別面談後必要な学習支援を予定しています。まずは自己学習方法の確立、授業理解度の向上を目指して頑張っています。年度末には外部模試を行う予定です。
- 3年生** 少しずつ問題集を購入し国家試験の出題傾向を知り、慣れることから始めています。実習で得た知識と既存の知識を結びつける学習や、外部模試の活用、国試対策ゼミ等で学習を支援します。

スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

●日程

月	対面 (14:30~17:00)	オンライン (16:30~18:00)
6月	6/16 (木)	6/23 (木)
7月	7/7 (木)	7/21 (木)

●予約なしの相談もできますが、原則、予約優先となります。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

① 氏名、②学年、③連絡先 Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪先生